

事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年04月25日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
28年度実績		ア 市広報掲載数	回	2	2	2	2	2
1.市広報にて設置補助制度を周知 3.申請内容審査 5.工事完了検査 7.国、県補助交付申請手続		イ 補助金交付件数	件	125	120	91	95	133
29年度計画 2.8年度と同様		ウ 区長町会長会議の際のPR	回	1	1	1	1	1
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
公共下水道認可区域・農業集落排水事業区域以外で浄化槽を設置しようとする人		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 下水認可区域・農集区域以外の人口	人	27,133	26,742	26,300	25,840	25,411
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
浄化槽の普及促進		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 単年度浄化槽設置補助世帯数	戸	125	120	91	95	133
		イ 延べ浄化槽設置補助世帯数	戸	2,301	2,421	2,512	2,607	2,740
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
・快適で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質汚濁防止		名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		ア 市全体の水洗化率(公共・農集+浄化槽)	%	75.0	75.8	76.6	76.6	77.1
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	22,010	22,674	17,979	18,468	17,891
		県支出金	千円	14,878	12,960	10,116	10,161	10,678
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	14,728	11,410	7,947	8,364	25,237
事業費計(A)		千円	51,616	47,044	36,042	36,993	53,806	
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	人件費計(B)	千円	4,064	4,221	4,190	4,153	4,153	
トータルコスト(A)+(B)		千円	55,680	51,265	40,232	41,146	57,959	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？		昭和63年度に国において補助が制度化されたこと及び生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するためなどから、補助制度を導入実施。						
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽は、公共下水道、農業集落排水とともに、生活排水処理の手段として大きな役割を担うものとなってきた。 ・市は、浄化槽を設置する市民に対し、その設置に要する費用の一部を助成。（下水道認可区域・農業集落排水区域を除く） ・財源は、国：1/3又は1/2 県：0.9/3 ・平成23年度 県は、補助の対象区域を縮小（下水道計画区域・農業集落排水区域を除く） 下水道計画区域 = 1,653.8ha 下水道認可区域 = 1,329.4ha 						
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		<ul style="list-style-type: none"> ・理解されている。 						

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 適正な生活排水処理による生活環境の向上と環境保全は重要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共下水道や農業集落排水施設に接続できない地域の、生活環境衛生の向上及び公共用水域の水質汚濁の防止を図るために制度補償として、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公共下水道と農業集落排水施設に接続できない地域が対象であり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 公共下水道及び農業集落排水事業区域以外が対象で、補助申請のあった方はすべて補助対象となっている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止した場合設置者の全額負担となり、設置が停滞し適正な生活排水処理の推進が困難となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の削減は設置者負担増、設置の停滞につながり、環境への悪影響を及ぼす。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の人件費であり削減は困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共下水道及び農業集落排水事業区域以外のすべての市民を対象としており、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								